# クリーン作戦

#### ①秋の多摩川クリーン作戦

河川の環境を守り、美化を推進するため、一緒にご みを拾いましょう。

■11月13日(日)午前8時~9時※小雨決行

裏団体参加:多摩川河川敷の各拠点(のぼり旗で表示) 個人参加:京王相模原線鉄橋下(京王多摩川駅徒歩

5分)の本部(当日直接会場へ)

他初めて参加する団体は要事前申し込み

#### ②野川クリーン作戦

野川の上流部(御塔坂橋~馬橋)で実施します。 ■11月26日出午前10時~11時※小雨決行 ■上流部: 中耕地橋、大橋、中島橋 田当日直接会場へ

①②共に **樹**軍手※ごみ袋などは市で用意

**間環境政策課☎481-7087** 

## 喫煙マナーアップ・ 受動喫煙防止キャンペーン

市内各駅周辺で、朝の通勤時間帯に合わせ喫煙マナ 一や受動喫煙防止を呼び掛け、清掃活動を行います。

実施駅(集合場所)	日時
調布駅 (駅前広場)	11月16日似午前8時 30分~9時15分
つつじケ丘駅	11月17日休
(南口調布市駐車場)	午前7時30分~8時
仙川駅	11月17日(休)
(駅前広場)	午前9時30分~10時
国領駅	
(駅改札前)	11月18日金
柴崎駅	午前7時30分~8時
(南□調布市駐輪場)	
布田駅	11月21日(月)
(駅改札前)	午前7時30分~8時
京王多摩川駅	11月21日(月)
(駅前広場付近)	午前9時~9時30分
西調布駅	
(北口ロータリー付近)	11月22日(以)
飛田給駅	午前7時30分~8時
(北口交番前)	

他今年度は啓発ティッシュの配布なし

**間**環境政策課☎481-7087

# 康

# 乳がん検診

## 【市内検診機関】

【川北州大河河区河		
実施場所	検診日	申し込み先
●調布病院 【定員各月45人】 /総合福祉センター 横から送迎バス あり	月〜金曜日の 午後	☎484-2626
②飯野病院 【定員各月65人】 (調布駅から徒歩1分)	金曜日の午後・土曜日	☎483-8811 (木・日曜日を除く (午前9時~午後5時)
<ul><li>3調布東山病院 【定員各月200人】 (調布駅から徒歩3分)</li></ul>	月・火・木・ 金・土曜日の 午後	☎481-5515

※12日までの申し込みは12月~令和5年1月、13日以 降の申し込みは1~2月の受診。検診日は祝日を除く

対昭和58年3月31日以前に生まれた女性

**四問診、視触診、マンモグラフィー** 

2 1500円 (検査時持参) ※生活保護受給世帯または中 国残留邦人等支援給付世帯は受給証明書の提示で免除 受診できない方/①令和3年4月以降の市の乳がん検 診受診者②乳腺科治療中または経過観察中③妊娠中 (可能性あり含む) ④授乳中⑤心臓ペースメーカー、 豊胸手術など乳房内に人工物がある方

囲電話またはFAX(●3のみ)で住所、氏名、生年月日、 年齢、電話番号、検診希望日 (FAXの場合のみ第3希 望まで)を各医療機関へ

**間健康推進課☎441-6100** 

#### ノロウイルス感染症に注意

ノロウイルスは冬期を中心に流行します。感染する と感染性腸炎を引き起こし、吐き気、おう吐、下痢、 腹痛、発熱などの症状がでます。乳幼児や高齢者は重 症化することもあるので、早めに医療機関を受診しま しょう。

感染予防のために/手洗い、うがいを徹底し、手指や 飲食物などに付着したウイルスが体に入ることを防ぐ **感染したら**/①下痢やおう吐がある場合は、脱水症予 防のために水分補給②使用したトイレや洗面器、流し はすぐに洗う③症状がなくなっても数日間は手洗い、 うがいを徹底し、外出時にはマスクをつける

おう吐物や糞便の処理に注意/おう吐物や糞便には多 量のノロウイルスが含まれているため、処理をする場 合はマスクや手袋をして、塩素系洗剤を染み込ませた ペーパータオルなどで拭き取りビニール袋に入れて捨 てる。処理後は十分に換気する

**間**健康推進課**☎**441-6100

## あなたの骨の健康度チェック

■12月12日例午前9時10分~11時30分頃

**励**文化会館たづくり西館保健センター1階

図市内在住の18~64歳(昭和33年4月1日~平成17年 3月31日生まれ)の女性(妊娠中の方、過去5年以内 に骨密度検査を受診した方、骨粗しょう症と診断され たことがある方、現在治療中の方を除く)

事に関する指導 屋申し込み順30人

置無料 保未就学児(定申し込み順6人)

■週11月7日月午前9時~25日金に電話で健康推進課 **☎**441−6100



募

## 男女共同参画推進フォーラム |しぇいくはんず2023 実行委員

誰もが生き生きと暮らせる社会を目指し て、令和5年6月に実施するイベントの企 センターHP 画運営を行う、団体・個人を募集します。 齏12月21日(水)

個詳細は男女共同参画推進センターⅢ参照

週男女共同参画推進センター☎443-1213

Edanjyo@city.chofu.lg.jp

# 令和5年度図書館カレンダー広告主

**カレンダーの大きさ・年間発行部数**/①B7判・約1 万6000部②B6判·約1万部

配布場所/市内各図書館11館 広告の大きさ/①縦13 ミリ×横53ミリ②縦19ミリ×横81ミリ

掲載位置/表裏下段(2色刷り)

**発行時期**/前期(4~9月)は令和5年3月、後期(10 ~3月) は令和5年9月

募集枠/2事業者(1事業者①②の2種類表裏2カ所。 前後期の2期分で8枠1セット)

置 1 セット 1 万7400円 (広告料)

他申し込み多数の場合は市の要綱に基づいて決定

**申問**12月1日休までに中央図書館☎441-6181

#### |12月のフリーマーケット出店者

超12月10日出・11日旧 ■午前10時~午後3時

**励**調布駅前広場 出店資格/市内在住・在勤で物品販 売を生業としない18歳以上の方

屋各50人(多数抽選) 置1000円

**■**間 E メール(携帯メールは不可)または往復はがき (往信裏面)に出店希望日、住所、氏名(ふりがな)、 電話番号、誓約の一文(会場周辺の道路上での荷物の 積み下ろしをしない旨)、在勤者は勤務先名・電話番 号を明記し、11月15日巛(消印有効)までに**E**choufu jirituouendan@luck.ocn.ne.jpまたは〒182-0024布田 1-43-2-N203 NPO法人ちょうふ自立応援団フ リーマーケット担当☎489-3160 (文化生涯学習課)

# 市民活動支援センター第11期運営



図①毎月1回(8月除く)開催される運営委員会に出 席し、センターの運営などについての意見交換・協議 ②センターが主催する事業の企画や準備、当日の運営 への協力 募集人数/若干名

他詳細は市民活動支援センターIP参照

■固指定の履歴書と作文(「調布の市民活動を活性化 していくためにセンターが取り組むべきことと、自分 ができること」800字以上~1200字以内)を11月10日 (州~12月5日月)(必着。11月21日月を除く)に直接ま たは郵送、Eメールで〒182-0022国領町2-5-15 市民プラザあくろす2階調布市市民活動支援センター 髙木・池田☎443-1220・■npo-center@ccsw.or.jp

「暮らしの情報」は11面に続きます

## 11月の健康に関する日

# △11月8日 いい歯の日

いつまでもおいしく、楽しく安全に 食事をするために、□の健康に気をつ け、オーラルフレイルを予防しましょ

# **B**11月16日 世界COPDデー

COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは、 喫煙や粉じん、化学物質などの有毒な 粒子やガスの吸入による進行性の肺の 疾患です。症状は運動時の呼吸困難や 慢性の咳、痰などです。

COPDは予防が可能な疾患で、肺を 健康に保つことが重要です。喫煙をし ている方で、運動時に呼吸が苦しい、 息切れがする、咳が普段からよく出る という症状がある方はCOPDが疑われ ます。早めに医療機関に相談し、進行 を防ぐ治療をお勧めします。

## △B共に

圓健康推進課☎441-6100

# ●11月14日 世界糖尿病デー

糖尿病は予防と早期発見が大切です。この機会に糖尿病につい て考えてみませんか。

## ①ブルーライトアップ

世界糖尿病デーのシンボル「ブルーサークル」にちなみ、青色 の光で市内の施設を照らします。

■11月12日出~20日回 励調布東山病院、味の素スタジアム、深 大寺、保健センターなど 
個実施日、時間は施設ごとに異なる

## ②糖尿病の予防と治療を啓発するイベント

今年は皆さんもライトアップしてみませんか。

■11月12日出~26日出 回皆さんが撮影したライトアップした様 子の写真で「ちょうふブルーサークル」のロゴマークをモザイク アートで作成し、12月半ばに発表予定。応募者には、抽選でモザ イクアート入りのオリジナルグッズを贈呈 **国** E メールに写真 (何枚でも可。撮影は横向き)と住所、氏名、電話番号、Eメー ルアドレス、学年、職業、保護者氏名(応募者が未成年の場合)、 ライトアップした場所、工夫したこと、ブルーライトアップ・ち ょうふブルーサークル運動に参加した想いや動機などを明記し、

Ebluecircle@touzan.or.jp 個詳細は調布東山病院Ⅲ参照

①②共に問調布東山病院事務局☎481-5513

(健康推進課)

## ●児童虐待の「早期発見」は、子どもと保護者を必要な援助につなげるための第一歩です